MediaBrowser

取扱説明書

Japanese

目次

画像を編集する

ファイル形式を変更して保存する

他のソフトウェアや機器で使用する

画像を印刷する

ご使用の前にお読みください

本書について

本書の範囲

本書は MediaBrowser の操作方法を説明した取扱説明書です。

- 本書では Windows の基本的な操作については記載しておりません。メニューの選択やウィンドウ操作などは基本的に Windows の一般的な操作手順に準拠しております。
- 本書内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点などがありましたら弊社ユーザーサポートセンター (P.8) へご連絡ください。
- 本書で使用しているアプリケーション画面の画像は、製品開発中の画面であり、実際とは異なる場合があります。
- 本取扱説明書では以下のマークを使用しております。

	このマークのある項目は、気を付けていただきたい内容について記述しています。
	このマークのある項目は、参考にしていただきたい内容について記述しています。

商標

- MediaBrowser™ は、株式会社ピクセラの商標です。
- Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- YouTube™ および YouTube ロゴは YouTube LLC の商標および登録商標です。
- Google™ は Google Inc. の商標です。
- Google Earth™ は Google Inc. の商標です。
- 本製品はフジフイルム製ソフトウェア「Exif Toolkit For Windows Ver.2.5 (Copyright (C) 1998-2003 FUJI PHOTO FILM CO.,LTD. All rights reserved)」を使用しています。Exif は JEITA（社団法人 電子情報技術産業協会）が規定するデジタルスチルカメラ用イメージファイルフォーマット標準規格です。
- 本製品は LibTiff を使用しています。
  Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
  Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.
- その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標もしくは登録商標です。
- 本書では ® および ™ などの商標マークは省略させていただいております。

使用上のご注意

- ノートパソコンで使用する場合は、パソコンの電源に AC アダプターを使用してください。
- 撮影された画像に第三者の著作物が含まれている場合、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。
- サポートしているファイル形式でも、記録方法によってはご利用できない場合があります。
- 「C: ￥」のようなルートディレクトリや、システムフォルダ、Windows フォルダ、光学ドライブを保存先に指定することはできません。
- Windows エクスプローラ画面から、MediaBrowser のブラウザー画面（P.12）へファイルをドラッグ＆ドロップすることでのファイルの移動はできません。
- MediaBrowser で文字を入力する場合、Unicode の文字をコピー＆ペーストすると文字化けします。
- YouTube アップロードについての免責

  YouTube へのアップロード機能を使用する場合、YouTube の仕様により 1 時間あたりのアップロード数に制限がかかる場合があります。　また、YouTube の仕様変更などに対して、将来にわたっての動作を保証するものではありません。また、すべての環境での動作を保障するものではありません。
- 制限事項に関する最新情報は下記ホームページをご覧ください。

  MediaBrowser ホームページ
  http://www.pixela.co.jp/oem/mediabrowser/j/

起動と終了の方法

起動する

MediaBrowser の起動には以下の方法があります。

ショートカットアイコンから起動する

デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックします。

スタートメニューから起動する

[スタート] メニュー -[すべてのプログラム]-[PIXELA]-[MediaBrowser]-[MediaBrowser] を選択します。

終了する

ウィンドウ右上の [ ](XP) ／ [ ](Vista/7) ボタンをクリックすると終了します。

＊ ダイアログや設定画面が表示されている場合は、それらを閉じてから終了してください。

Windows XP

Windows Vista / Windows 7

最新情報の確認機能

MediaBrowser の起動時に、最新バージョンや製品情報を確認するかどうかの確認メッセージが表示されます。[はい] をクリックすると、インターネットブラウザが起動して、対象のページへジャンプします。

＊ パソコンがインターネットに接続されている場合のみ表示されます。

＊ メッセージの表示／非表示を設定することができます。(P.26)

MediaBrowser についてのお問い合わせ先

ご登録ユーザー様に各種のサービスおよびサポートを提供いたします。MediaBrowser についてのご質問・ご相談は、ユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。

株式会社ピクセラ　ユーザーサポートセンター

受付時間：月曜日～日曜日　10：00 ～ 18：00
（年末年始、祝日を除く）

■ フリーダイヤル

0120-727-231（無料）

■ 携帯電話、PHS からおかけの場合やフリーダイヤルをご利用できない場合

TEL：06-6633-2990
FAX：06-6633-2992

ホームページ

製品の最新情報やダウンロードなどは、下記のホームページをご覧ください。

MediaBrowser ホームページ
http://www.pixela.co.jp/oem/mediabrowser/j/

画面の基本操作

これだけは知っておこう

MediaBrowser を使うと、カメラやパソコンに保存されている画像の閲覧、管理が簡単にできます。
また、画像を別のファイル形式にしたり、YouTube や Google Earth で使用することもできます。

❗ カメラに保存されている画像はパソコンに取り込んでから使用してください。パソコンへの取り込み方法については、本ソフトウェアが付属していたカメラの取扱説明書をお読みください。

使用できるデータについて

読み込み

MediaBrowser が付属しているカメラで撮影した以下のファイルに対応しています。

静止画		動画	音声
JPEG (.jpg) MP (.mpo)	TIFF (.tif) RAW (.dng)	AVI (.avi)	WAV (.wav)

＊ カメラによって撮影できるファイル形式が異なります。
＊ カメラで撮影した画像以外に、BMP(.bmp) 形式のファイルを読み込めます。
＊ 1 秒未満の動画ファイルは使用できない場合があります。

書き出し

操作内容によって書き出されるファイル形式が異なります。

操作	ファイル形式
別ファイルとして保存	JPEG (.jpg)
スライドショーを動画ファイルとして保存	AVI (.avi)
動画ファイルからの静止画書き出し	JPEG (.jpg)
MP ファイルを 1 コマごとに保存	JPEG (.jpg)
動画ファイルの切り出し	AVI (.avi)
動画ファイルの結合	AVI (.avi)
YouTube へのアップロード	WMV (.wmv)
携帯メディアプレーヤー用ファイルの書き出し	WMV (.wmv)
他のデジタルカメラでの共有ファイル書き出し (DCF 作成)	JPEG (.jpg) MP (.mpo) RAW (.dng) AVI (.avi) ＊ 元のファイルの形式で書き出されます。
Google Earth 用ファイルの書き出し（対応カメラのみ）	KMZ (.kmz)
TIFF 形式／ RAW 形式のファイルを変換	JPEG (.jpg)　BMP(.bmp)

ブラウザー画面

MediaBrowser を起動すると、最初にブラウザー画面（下図）が表示されます。ソースパネル（①）で画像の保存場所を選んでから、ブラウザーパネル（②）でファイルを指定して操作を実行します。

① ソースパネル

保存場所の一覧です。各項目の [+] をクリックすると、その中に含まれているフォルダが表示されます。

② ブラウザーパネル

ソースパネルで選んだ保存場所にあるファイルが表示されます。また、ファイルの種類によって以下のアイコンが表示されます。

アイコン	ファイルの種類
	動画ファイル
	静止画ファイル
MP	MP ファイル（連写撮影ファイル）
RAW	DNG 形式のファイル
GPS	位置情報が記録されているファイル

③ 操作ボタン

画面の表示を変更したり、ファイルの操作を行います。

ボタン	機能
	指定した保存場所だけをソースパネルに表示します。指定した場所にサブフォルダがある場合、各サブフォルダに含まれている画像をまとめてブラウザーパネルに表示することもできます。
	ソースパネルで表示する保存場所を指定します。
	画像のサムネイルを一覧表示します。(P.14)
	サムネイルと画像の情報をリスト形式で表示します。(P.15)
	画像を撮影月ごとにカレンダー形式で表示します。(P.15 ～ P.16)
	スライダーをドラッグ＆ドロップして、サムネイルのサイズを変更します。 ＊ リスト形式で表示しているときは表示されません。
	ファイルの詳細情報を表示します。
	選択したファイルを再生／表示します。
	静止画ファイルを左に 90˚ 回転します。
	静止画ファイルを右に 90˚ 回転します。
[絞り込み]	指定した種類のファイルだけを表示します。
[選択解除]	ファイルの選択を解除します。
[すべて選択]	ブラウザーパネルに表示されているすべてのファイルを選択します。

④ [メニュー] ボタン

以下の設定画面に移動します。

操作	機能
動画作成	スライドショーを動画ファイルとして保存します。
動画結合	複数の動画ファイルを結合します。
動画共有	WMV 形式のファイルを書き出します。書き出したファイルは携帯メディアプレーヤーなどで使用できます。
YouTube	YouTube にアップロードします。
DCF 作成	他のデジタルカメラで扱える形式で書き出します。
Google Earth(TM) 出力	Google Earth 用のファイルを書き出します。 ＊ 環境設定 (P.26) の「位置情報に関する機能を使用する」にチェックを入れると表示されます。 ＊ この機能は対応カメラで位置情報を記録した場合のみ使用できます。
印刷	静止画を印刷します。

画面表示の切り換え

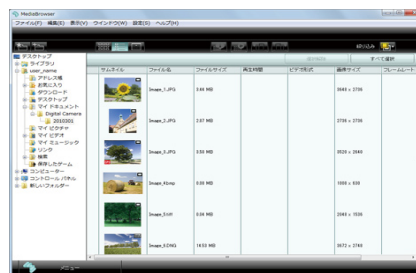
表示の種類

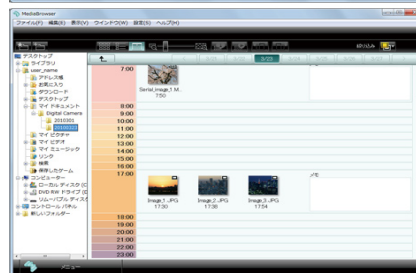
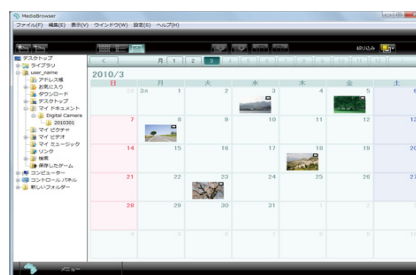
ブラウザー画面には以下の３つの表示状態があります。

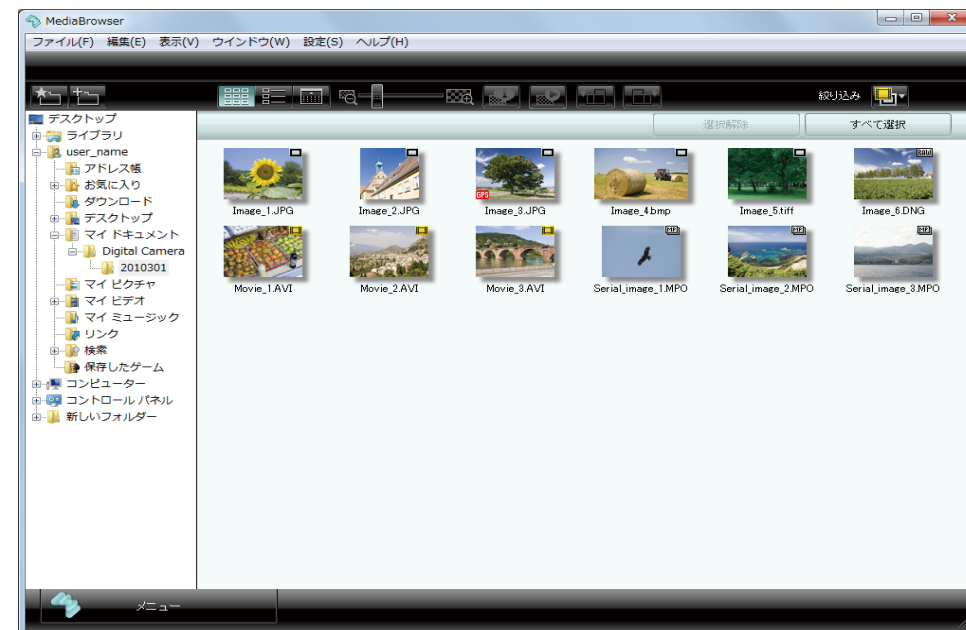
サムネイル表示

サムネイルが一覧で表示されます。ファイルの種類を確認するときに便利です。

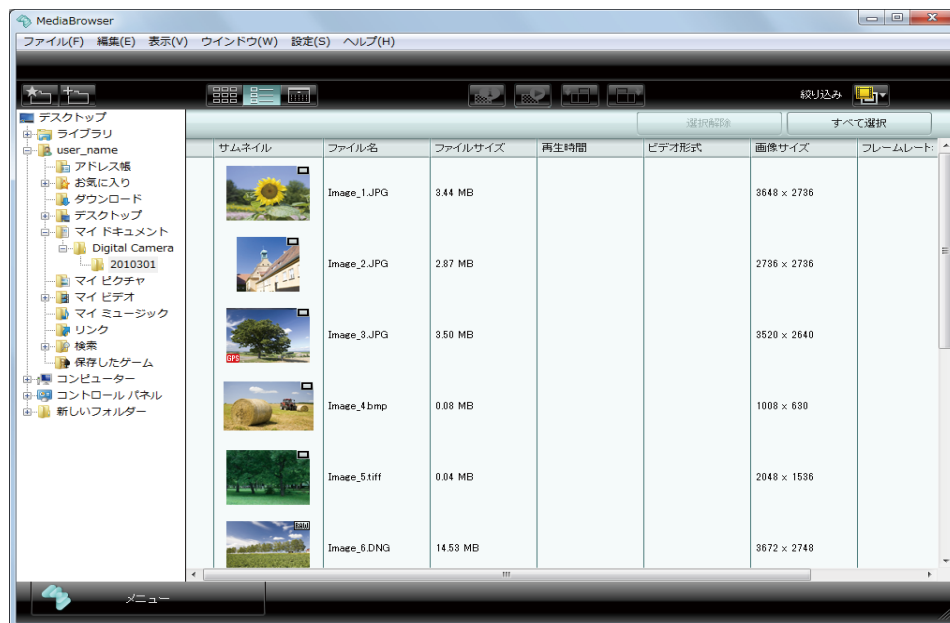
リスト表示

サムネイルとファイルの詳細情報が一覧で表示されます。特定の条件でファイルを並べ替えるときに便利です。

カレンダー表示（月／日）

撮影日／撮影時刻にそってカレンダー上にサムネイル表示されます。ファイルの新旧を確認するときに便利です。

サムネイル表示

ボタンを押すと切り換わります。

MP ファイル（連写撮影ファイル）を選択したときは、1 コマごとのサムネイルが [MP ファイル] 内に表示されます。[MP ファイル] 内の画像を選んで、再生することもできます。

リスト表示

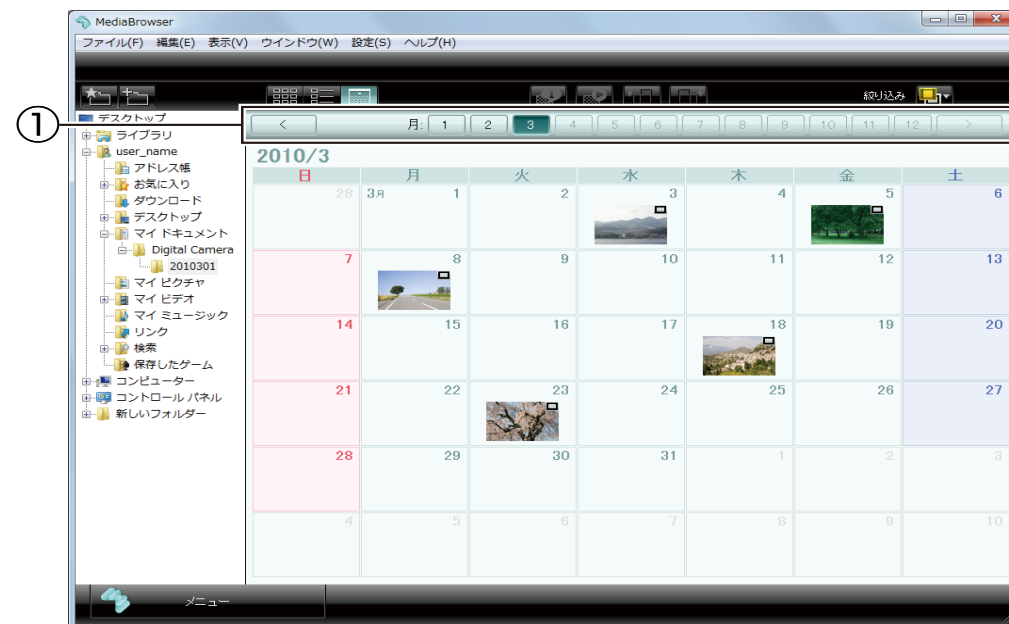
ボタンを押すと切り換わります。
表示する項目は、[ウインドウ] メニューから [表示オプションを表示 ...] を選択して、表示されるオプションウィンドウで変更できます。

項目名 [サムネイル] の仕切り線を左右にドラッグ & ドロップすることで、サムネイルのサイズを変更できます。

MP ファイル（連写撮影ファイル）を選択したときは、1 コマごとのサムネイルが [MP ファイル] 内に表示されます。[MP ファイル] 内の画像を選んで、再生することもできます。

カレンダー表示（月ごとの表示）

ボタンを押すと切り換わります。

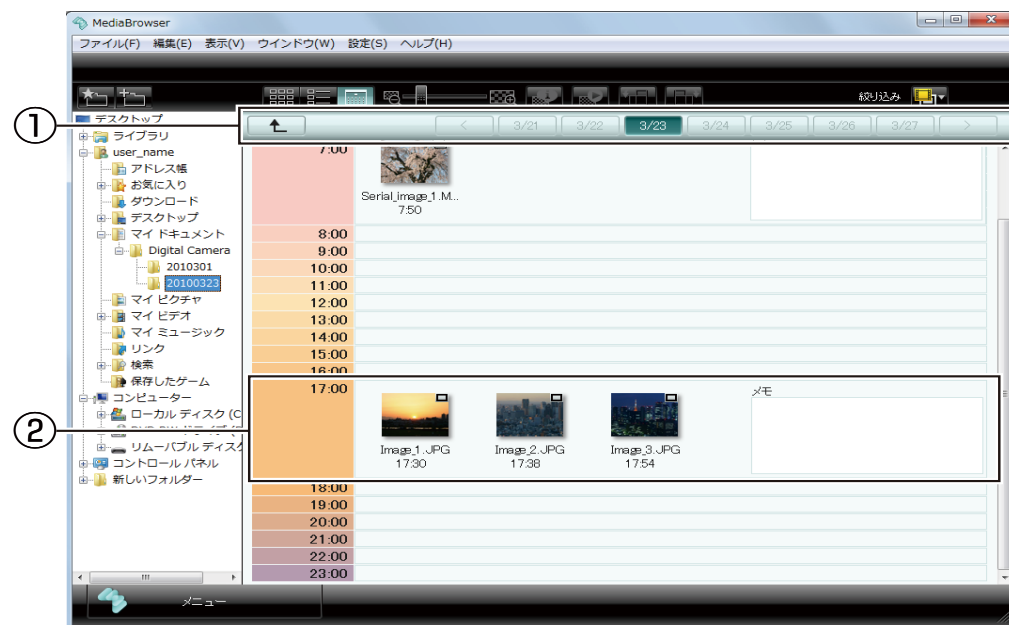
日付の上にマウスカーソルをしばらく合わせていると、その日に撮影した画像のサムネイルが表示されます。

①

① 年月ボタン

撮影年や月を移動します。

ボタン	機能
<	前年のカレンダーに移動します。表示中の年より前に撮影した画像がない場合は使用できません。
1 ～ 12	各月のボタンです。撮影した画像がある月のみ使用できます。。
>	次の年のカレンダーに移動します。表示中の年より後に撮影した画像がない場合は使用できません。

カレンダー表示（日ごとの表示）

月ごとの表示のときに、サムネイルが表示されている日付をクリックすると、日ごとの表示に切り換わります。

① 日付ボタン

撮影日を移動します。

ボタン	機能
⮤	月ごとの表示に戻ります。
＜	表示中の週より前に撮影した画像がある週のカレンダーに移動します。
3/1 （撮影日）	1 週間分の日付が表示されます。撮影した画像がある日付のボタンのみ使用できます。
＞	表示中の週より後に撮影した画像がある週のカレンダーに移動します。

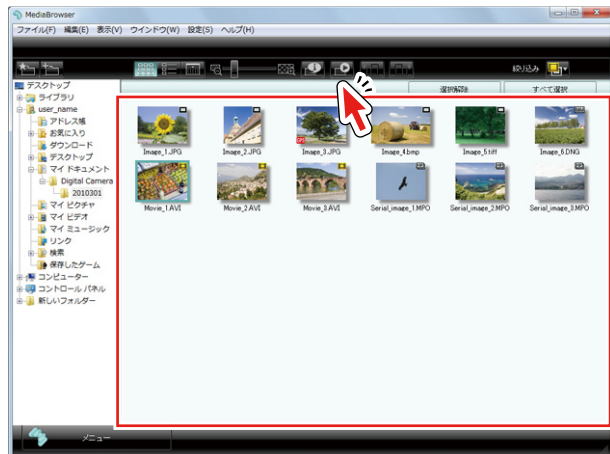
② 撮影内容

画像を撮影した時間の欄にサムネイルが表示されます。また、撮影した時間にごとにコメントを入力できます。

画像を再生する

静止画／動画を再生する

1 ソースパネルで、再生するファイルの保存場所をクリックします。

2 ブラウザーパネルで、対象のファイルを選んで をクリックします。

➡ 再生が開始されます。

＊ サイズの大きいファイルは、表示されるまで時間がかかる場合があります。

Google Earth と連携する

アイコンが表示されているファイルは、Google Earth 上に位置情報を表示しながら再生することができます。(P.75)

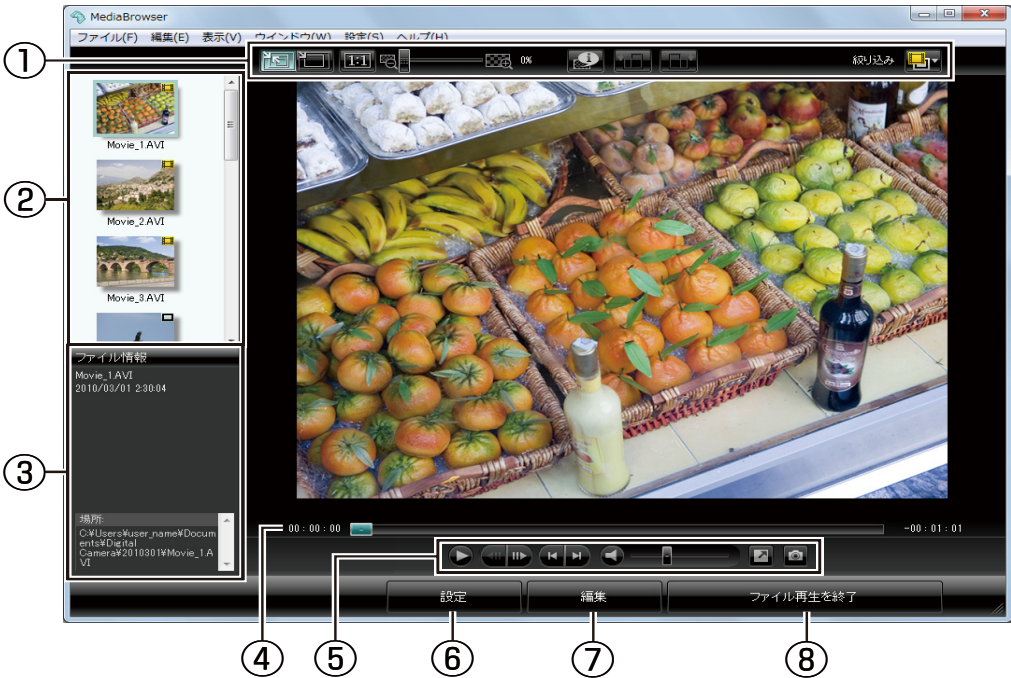
＊ この機能は、対応カメラで位置情報を記録した場合のみ使用できます。

スライドショーで表示する

[表示] メニューの [スライドショー] をクリックすると、保存場所の画像がスライドショーで表示されます。

再生を終了するとき

[ファイル再生を終了] ボタンをクリックしてください。

再生画面

① 操作ボタン

ボタン	機能
	ウィンドウサイズより大きい画像の場合、ウィンドウサイズに合わせて表示します。
	ウィンドウサイズに合わせて画像全体を表示します。
1:1	画像を原寸で表示します。画像をドラッグ & ドロップすることで表示されていない部分を表示できます。
	スライダーをドラッグ& ドロップして、画像のサイズを変更します。
	ファイルの詳細情報を表示します。

ボタン	機能
	静止画ファイルを左に 90°回転します。
	静止画ファイルを右に 90°回転します。
[絞り込み]	画像リストに指定した種類のファイルだけを表示します。

② 画像リスト

同じ保存場所にある画像ファイルがサムネイルで表示されます。選択した画像がプレビューエリアに表示されます。

③ ファイル情報

画像リストで選択したファイルの情報が表示されます。

④ 再生スライダー

動画ファイルや MP ファイル(連写撮影ファイル)の再生位置を表示します。また、スライダーをドラッグ & ドロップすることにより、再生開始位置を指定できます。

- 動画ファイルのときは、経過時間と残り再生時間が表示されます。
- MP ファイルのときは、コマ数のカウンターが表示されます。

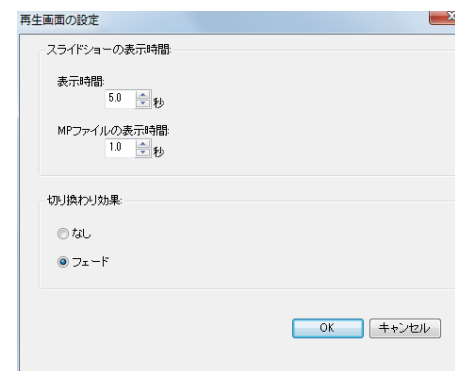
⑤ コントロールボタン

画像の再生操作を行います。

ボタン	機能
(再生ボタン)	動画ファイルや MP ファイル（連写撮影ファイル）を再生／一時停止します。
(コマ戻し) / (コマ送り)	動画ファイルや MP ファイル（連写撮影ファイル）で、1 コマ前／後の画像を表示します。
(前へ) / (次へ)	1 つ前／後のファイルを表示します。
(音量スライダー)	スライダーをドラッグ＆ドロップして音量を調節します。 (スピーカー) をクリックすると消音されます。もう一度クリックすると解除されます。
(全画面)	画像を全画面で表示します。ダブルクリックすると元の表示に戻ります。
(カメラ)	動画ファイルや MP ファイル（連写撮影ファイル）で表示中の場面を静止画ファイルとして保存します。

＊ 画像をスライドショーで表示しているときに、コントロールボタンをクリックすると、スライドショーがキャンセルされます。

⑥ [設定] ボタン

再生の設定画面を開きます。スライドショーでの表示時間や次の画像に切り換わるときの効果を設定します。

項目	内容
スライドショーの表示時間	画像の表示時間を設定します。静止画ファイルと MP ファイル（連写撮影ファイル）を個別に設定します。0.1 秒単位で最大 60 秒まで設定できます。 ＊ 切り換わり効果の時間は表示時間に含まれません。
切り換わり効果	次の画像に切り換わるときの効果を選択します。[フェード] にすると、画像が切り換わるとき、前の画像が徐々に消えてから、次の画像が徐々に現れます。

⑦ [編集] ボタン

編集を開始します。動画ファイルと静止画ファイルで編集画面が異なります。

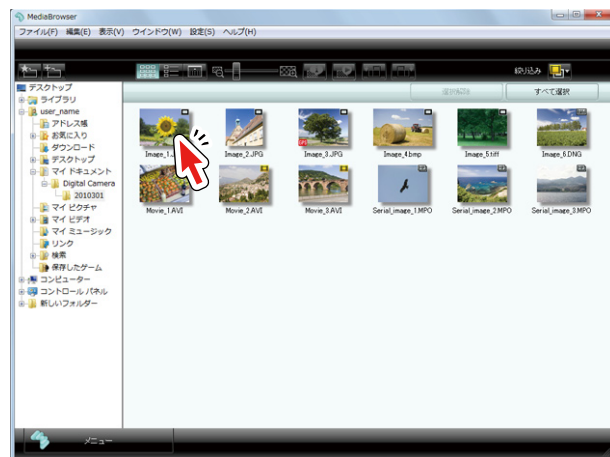
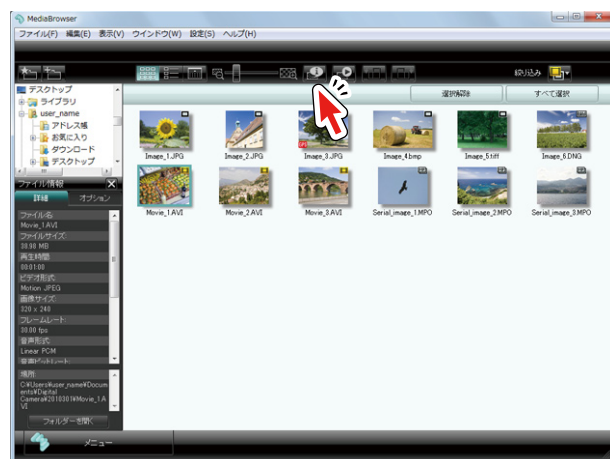
⑧ [ファイル再生を終了] ボタン

再生を終了して、ブラウザー画面に戻ります。

画像を管理する

ファイルの情報を確認する

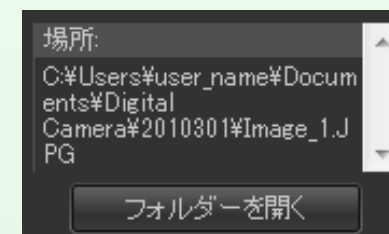
ファイルの詳細情報を表示します。

1 対象のファイルをクリックします。

2 ボタンをクリックします。

➡ ファイル情報パネルが表示されます。

＊ ファイル情報パネルを閉じるときは、パネル右上の ボタンをクリックします。

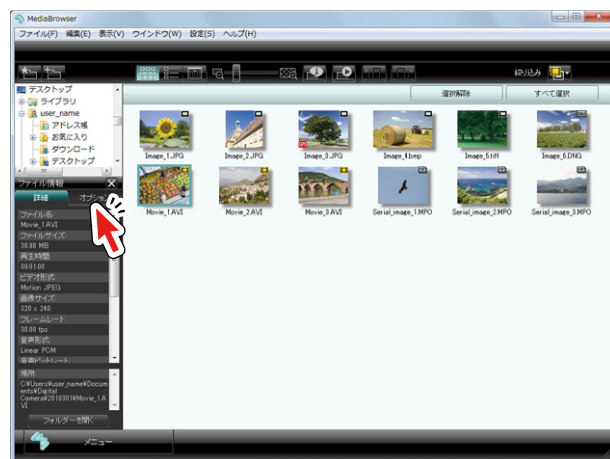
保存場所のフォルダを開く

[フォルダを開く] をクリックすると、保存場所のフォルダを開くことができます。

ファイルに情報を加える

星の数で画像を評価したり、コメントを付け加えることができます。追加した情報はブラウザー画面に反映されます。

1 ファイル選んで、 ボタンをクリックします。

➡ ファイル情報パネルが表示されます。

2 [オプション] タブをクリックします。

3 各項目を編集します。

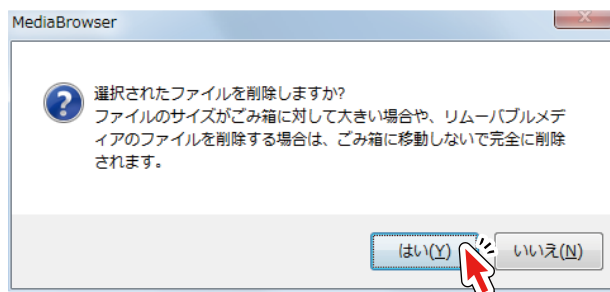
項目	内容
サムネイル	動画ファイルの場合は、サムネイル画像の下にあるスライダーをドラッグ & ドロップして、サムネイル画像を変更することができます。
マイレート	ドラッグ & ドロップすることで星の数を変更します。マイレートはブラウザー画面での並べ替えに使えます。
コメント	コメントを入力します。

4 ボタンをクリックします。

➡ 編集内容が反映されます。

ファイルを削除する

1 ファイルを右クリックして、[削除] をクリックします。

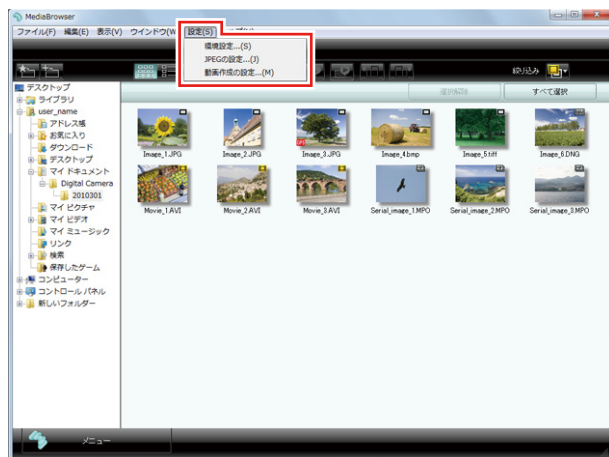
2 [はい] ボタンをクリックします。

➡ ファイルが削除されます。

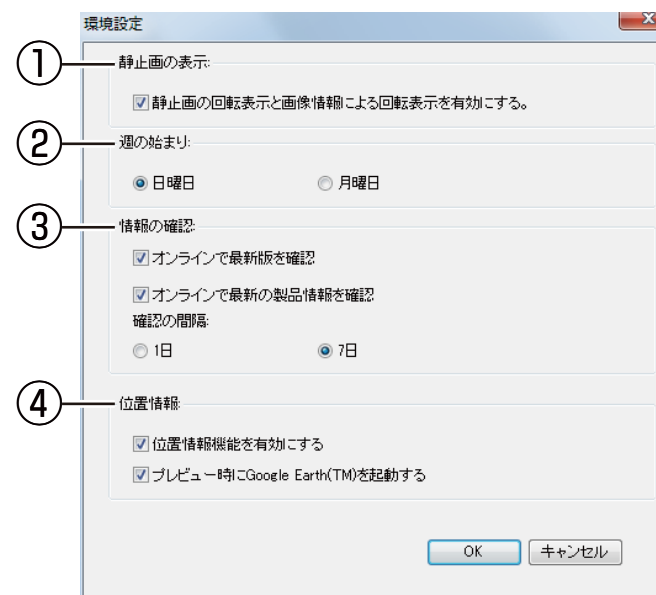
ファイルの削除について

Windows のエクスプローラー上で操作するのと同様に、ファイルが [ごみ箱] に移動します。
削除するファイルのサイズが [ごみ箱] よりも大きい場合は、そのまますぐに消去されます。

環境設定

環境設定の種類

MediaBrowser での操作や表示方法を変更することができます。
[設定] メニューの項目をクリックすると、設定画面が表示されます。

項目	内容
環境設定	画面の表示方法、オンライン確認機能、位置情報の設定を行います。
JPEG の設定	JPEG 形式でファイルを保存するときの画質を設定します。
動画作成の設定	静止画のスライドショーを動画ファイルとして保存するときに、画像 1 枚あたりの表示時間や切り換わりの効果を設定します。

環境設定

① 静止画の表示

チェックを入れると、 ／ ボタンで静止画を回転させて表示する操作を有効にします。また、ファイル自体が回転情報を持っている場合は、その情報に基づいて表示します。

② 週の始まり

カレンダー表示の左端にくる曜日を選択します。

③ 情報の確認

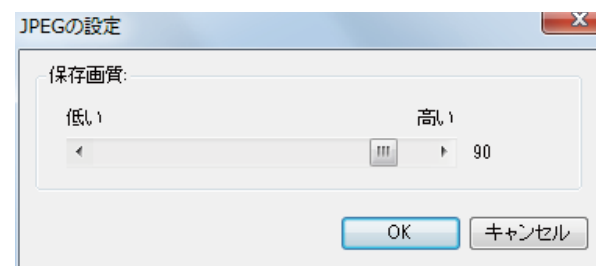
MediaBrowser の起動時に、最新バージョンや製品情報を確認するかどうかの確認メッセージを表示します。また、メッセージを表示する間隔を選びます。

＊ パソコンがインターネットに接続されている場合のみ表示されます。

④ 位置情報

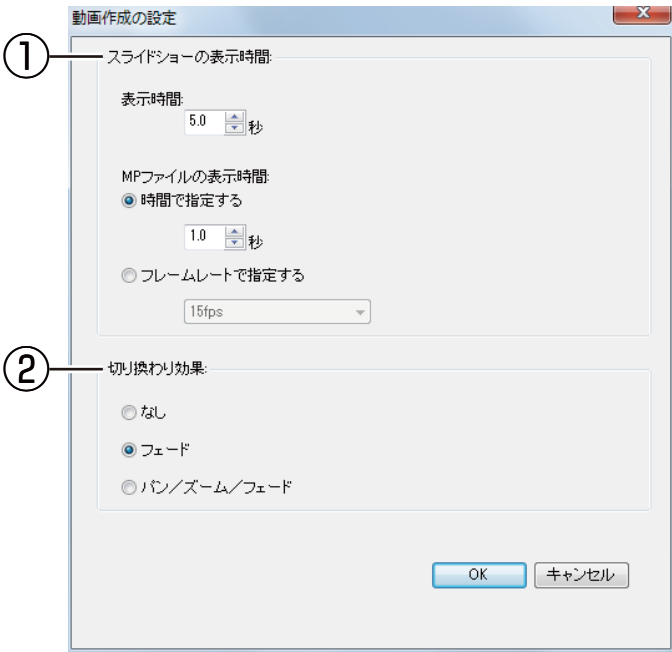
この機能は、対応カメラで位置情報を記録した場合のみ使用できます。

項目	内容
位置情報機能を有効にする	チェックを入れると、[メニュー] ボタンの項目に [Google Earth(TM) 出力] ボタンが追加されます。また、ファイル情報 (P.22) に位置情報の項目が追加されます。
プレビュー時に Google Earth を起動する	撮影時に位置情報が記録されている画像ファイルを再生するときに、Google Earth を起動して、位置情報を表示します。

JPEG の設定

JPEG 形式でファイルを保存するときの画質を設定します。

スライダーをドラッグ & ドロップして、[OK] をクリックすることで決定します。数値が高いほど、保存されるファイル画質が良くなりますが、同時にファイルのサイズも大きくなります。

動画作成の設定

スライドショーを動画ファイルとして保存するときの設定を行います。

① スライドショーの表示時間

スライドショーでの画像 1 枚あたりの表示時間を設定します。

項目	内容
表示時間	MP ファイル（連写撮影ファイル）を除く静止画ファイルの表示時間を設定します。0.1 秒単位で最大 60 秒まで設定できます。
MP ファイルの表示時間	MP ファイル（連写撮影ファイル）の各画像の表示時間を設定します。
	[時間で指定する] 1 コマあたりの表示時間を指定します。0.1 秒単位で最大 60 秒まで設定できます。
	[フレームレートで指定する] 1 秒あたりに何コマ表示するかで指定します。

② 切り換わりの効果

次の画像に切り換わるときの効果を選択します。

項目	内容
なし	切り換わりの効果を適用しません。
フェード	画像が切り換わるとき、前の画像が徐々に消えてから、次の画像が徐々に現れます。
パン／ズーム／フェード	画像に少しずつズームインしながら表示します。画像が切り換わるときは、前の画像が徐々に消えてから、次の画像が徐々に現れます。

画像を編集する

静止画の画質を調節する

1 対象のファイルを選んで [icon] をクリックします。

➡ 再生画面に切り換わります。

2 [編集] をクリックします。

➡ 編集画面に切り換わります。

3 画質を調節します。

項目	内容
自動色調整	明るさ、コントラスト、彩度、露出、ホワイトバランスを自動的に調節して最適な表示にします。
明るさ	明るさを調節します。
コントラスト	陰影の強さを調節します。
彩度	鮮やかさを調節します。
露出	露光量を調節します。 をクリックすると自動的に調節して最適な露光量にします。
ホワイトバランス	白の色味を調節します。
	[色温度] 光源の色温度を調節します。画像の中の色を基準に調節することもできます。 をクリックして、画像の中の基準にする色のところでクリックします。
	[色合い] [色温度] で調節したホワイトバランスの色相を調節します。
逆光	逆光を補正します。 [強さ] で画像の陰の部分の明るさを調節して、[彩度] で鮮やかさを調節します。
赤目	赤目を補正します。 修正する部分をドラッグ & ドロップして指定します。
切り抜き	指定した箇所を切り抜きます。詳しい操作方法は P.36 を参照してください。

4 [保存] をクリックします。

➡ 元のファイルの保存場所に、編集された画像が保存されます。

＊ 元のファイルは移動します。（右記参照）
＊ 元のファイル形式にかかわらず、JPEG 形式で保存されます。

さらに他の編集を続ける場合

[保存] をクリックしないで、そのまま編集を続けます。

元のファイルは移動します

編集して保存すると、元のファイルと同じ保存場所に [Original] フォルダが作成されます。編集に使ったファイルはこのフォルダに移動します。

静止画に効果を加える

1　対象のファイルを選んで をクリックします。

➡ 再生画面に切り換わります。

2　[編集] をクリックします。

➡ 編集画面に切り換わります。

3 [効果] タブをクリックして、お好みの効果を付け加えます。

項目	内容
モノクローム	白黒の画像にします。
セピア	セピア調の画像にします。
ソフト／シャープ	画像の輪郭を調節します。
マスク	指定した箇所をぼかします。 ぼかしたい箇所をドラッグ＆ドロップで指定してから、ぼかしの種類（モザイク／ぼかし）と強さを調節します。
スポット	指定した箇所だけを明るく残して際立たせます。 囲み方（円形選択／矩形選択）を選んで、際立たせたい箇所をドラッグ＆ドロップします。[明るさ] のスライダーで明暗の調節ができます。
テキスト	文字を付け加えます。詳しい操作方法は P.39 を参照してください。

4 [保存] をクリックします。

➡ 元のファイルの保存場所に、編集された画像が保存されます。

＊ 元のファイルは移動します。（右記参照）
＊ 元のファイル形式にかかわらず、JPEG 形式で保存されます。

さらに他の編集を続ける場合

[保存] をクリックしないで、そのまま編集を続けます。

元のファイルは移動します

編集して保存すると、元のファイルと同じ保存場所に [Original] フォルダが作成されます。編集に使ったファイルはこのフォルダに移動します。

静止画の一部分を切り抜く

1 対象のファイルを選んで [icon] をクリックします。

➡ 再生画面に切り換わります。

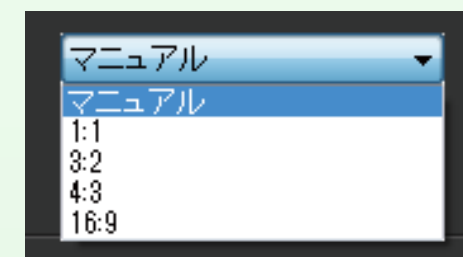
2 [編集] をクリックします。

➡ 編集画面に切り換わります。

3　[切り抜き] をクリックします。

4　切り抜く範囲をドラッグ＆ドロップで指定します。

切り抜く範囲の指定方法

プルダウンメニューで、ドラッグ＆ドロップしたときの縦と横の比率を設定することができます。

5 [適用] をクリックします。

➡ 指定した範囲が切り抜かれます。

6 [保存] をクリックします。

➡ 元のファイルの保存場所に、編集された画像が保存されます。

＊ 元のファイルは移動します。（右記参照）
＊ 元のファイル形式にかかわらず、JPEG 形式で保存されます。

さらに他の編集を続ける場合

[保存] をクリックしないで、そのまま編集を続けます。

元のファイルは移動します

編集して保存すると、元のファイルと同じ保存場所に [Original] フォルダが作成されます。編集に使ったファイルはこのフォルダに移動します。

静止画に文字を加える

1　対象のファイルを選んで [icon] をクリックします。

➡ 再生画面に切り換わります。

2　[編集] をクリックします。

➡ 編集画面に切り換わります。

3 [効果] タブの [テキスト] をクリックします。

4 文字を入れたい箇所をクリックして、文字を入力します。

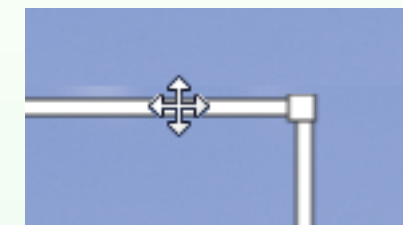
テキストボックスについて

文字を入力すると、文字が白い枠線で囲まれます。この枠線を「テキストボックス」と呼びます。文字の入力や編集はテキストボックスが表示されているときだけできます。テキストボックスが表示されていないときは、文字の上をクリックしてください。

5 文字の編集をします。

項目	内容
フォント	文字の種類をプルダウンメニューから選びます。
サイズ	文字のサイズをプルダウンメニューから選びます。
色	文字色を選びます。T の右側の ● をクリックして、色の設定パネルから選びます。 T にチェックを入れると文字を縁取ることができます。また、縁取りの色を選ぶこともできます。
スタイル	文字のスタイルを変更します。もう一度クリックすると解除されます。 B 太字にします。 I イタリックにします。 U 下線を引きます。
	文字の配置を変更します。 左揃えにします。 中央揃えにします。 右揃えにします。
削除	選択中のテキストボックスを削除します。
すべて削除	すべてのテキストボックスを削除します。

テキストボックスで編集する

テキストボックスの辺の上で ✥ が表示されているときにドラッグ＆ドロップすると、文字の位置を移動できます。

テキストボックスの角で ⤡ が表示されているときにドラッグ ＆ ドロップすると文字サイズを変更できます。

テキストボックスの角の付近で ↻ が表示されているときにドラッグ ＆ ドロップすると文字を回転します。

6 必要に応じて手順４～５を繰り返します。

7 [保存] をクリックします。

➡ 元のファイルの保存場所に、編集された画像が保存されます。

＊ 元のファイルは移動します。（右記参照）
＊ 元のファイル形式にかかわらず、JPEG 形式で保存されます。

さらに他の編集を続ける場合

[保存] をクリックしないで、そのまま編集を続けます。

元のファイルは移動します

編集して保存すると、元のファイルと同じ保存場所に [Original] フォルダが作成されます。編集に使ったファイルはこのフォルダに移動します。

静止画の編集画面

① 操作ボタン

ボタン	機能
	編集した内容を 1 つ前の状態に戻します。現在の状態から 100 工程までさかのぼれます。
	前の状態に戻っているときに、1 つ先の状態へ進みます。
	スライダーをドラッグ＆ドロップして、画像の表示サイズを変更します。
	画像を左に 90° 回転します。
	画像を右に 90° 回転します。

② 編集パネル

画質を調整したり効果を付け加えます。詳細は各項目の説明ページを参照してください。

タブ	項目	説明ページ
調整	自動色調整	P.30
	明るさ	
	コントラスト	
	彩度	
	露出	
	ホワイトバランス	
	逆光	
	赤目	
	切り抜き	P.36
効果	モノクローム	P.33
	セピア	
	ソフト／シャープ	
	マスク	
	スポット	
	テキスト	P.39

③ ヒストグラム

画像データの色の分布を RGB（R: 赤、G: 緑、B: 青）で表したグラフです。各項目のスライダーを動かすとグラフの形状が変化します。一般的に、グラフの山の高さや幅をバランスよく分布させることで適正な露出に近づくとされています。

④ 静止画リスト

同じ保存場所にある静止画ファイルのサムネイルが表示されます。

/ ボタンで編集するファイルを変更することができます。ボタンの間にあるサムネイルが現在編集中の静止画です。

⑤ [保存] ボタン

編集内容を確定して、別ファイルとして保存します。

⑥ [編集を終了] ボタン

再生画面に戻ります。

⑦ [キャンセル] ボタン

編集内容を破棄して、再生画面に戻ります。

複数の動画ファイルを結合する

2 つ以上の動画ファイルを 1 つのファイルとして保存することができます。

1 メニューの [動画結合] をクリックします。

2 結合するファイルを画面下半分の領域にドラッグ＆ドロップします。

ソースパネル（画面左の欄）で選択した場所にあるファイルが画面上半分に表示されます。保存場所が異なるファイルを使う場合は、それぞれの保存場所を開いてドラッグ＆ドロップしてください。

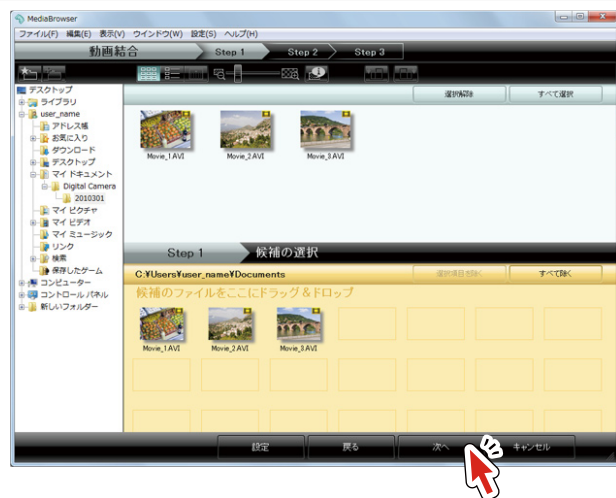
＊最大 99 ファイルまで追加できます。

結合できるファイル

以下の項目が同一で、結合後の総再生時間が 4 時間以内であれば、結合することができます。

- ビデオ形式
- 画像サイズ
- ビデオ方式
- フレームレート

選択を取り消すとき

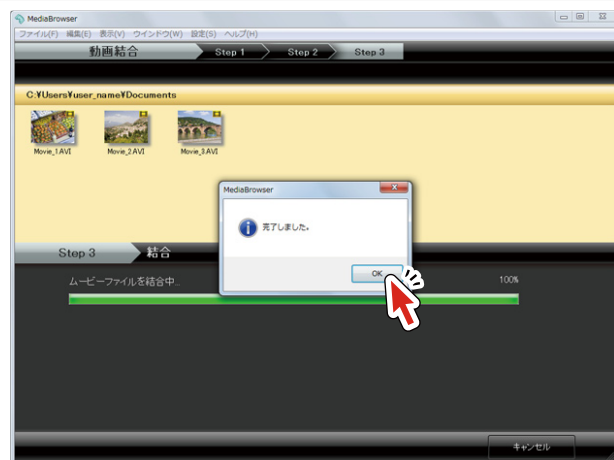
画面下半分の領域に移動したファイルを除外するときは、ファイルを選択して、[選択項目を除く] ボタンをクリックします。

3 [次へ] ボタンをクリックします。

4 ファイル名を入力して、[開始] ボタンをクリックします。

➡ 動画ファイルの結合が開始されます。

保存場所の変更

[設定] ボタンをクリックすると、結合後のファイルの保存場所を変更することができます。

5 完了メッセージで [OK] ボタンをクリックします。

➡ 結合された動画ファイルが別ファイルとして以下の場所に保存されます。

【Windows XP】　C:¥Documents and Settings¥（ユーザーアカウント名）¥ マイ ドキュメント ¥ マイピクチャ
【Windows Vista】C:¥Users¥（ユーザーアカウント名）¥ ピクチャ
【Windows 7】　C:¥Users¥（ユーザーアカウント名）¥ マイピクチャ

＊ カッコ内の名称は環境によって異なります。
＊「（マイ）ピクチャ」がないときは「（マイ）ドキュメント」に保存されます。

動画ファイルの必要な場面だけを切り出す

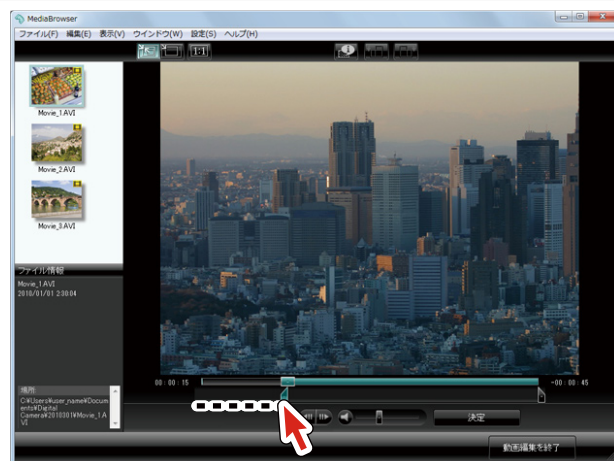
1 つの動画ファイルの中から必要な場面だけを切り出して、別のファイルとして保存することができます。

1 動画ファイルを選んで をクリックします。

アイコンの付いているファイルが動画ファイルです。

2 [編集] ボタンをクリックします。

➡ 再生バーの下部に切り出し用のスライダーが表示されます。

3 切り出したい場面の開始位置に、左側のスライダーを移動させます。

4 切り出したい場面の終了位置に、右側のスライダーを移動させます。

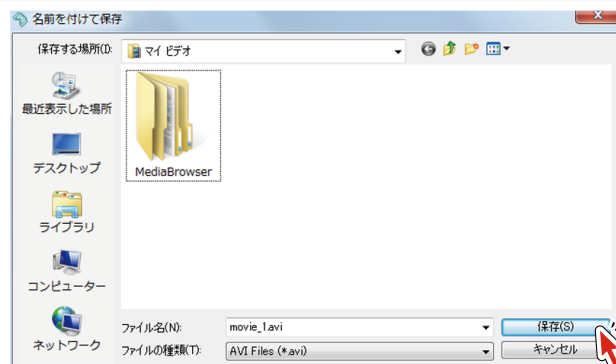
場面の表示について

[◀II] / [II▶] ボタンや再生スライダーで表示する場面の微調整ができます。

切り出せる場面について

1 回の編集につき 1 場面だけ切り出せます。切り出したい場面が複数あるときは、同じ動画ファイルで編集を繰り返してください。また、長さが 3 秒未満の場合は切り出せません。

5 [決定] ボタンをクリックします。

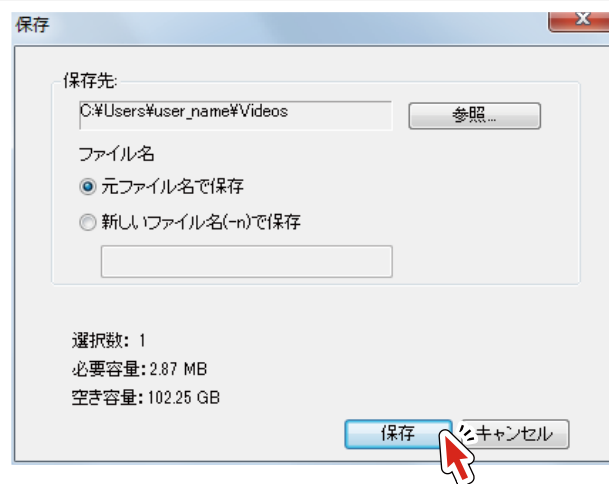
6 保存先を指定して、[保存] ボタンをクリックします。

➡ 切り出した部分の動画ファイルが保存されます。

ファイル形式を変更して保存する

別ファイルとして保存する

ファイル名を変えて、別のファイルとして保存することができます。

1 ファイルを選んで、[ファイル] メニューの [保存 ...] をクリックします。

2 保存先とファイル名を設定して、[保存] ボタンをクリックします。

項目	内容
保存先	保存先を変更するときは、[参照] ボタンをクリックします。
ファイル名	[元ファイル名で保存] 元のファイル名のままで、新しいファイルを保存します。
	[新しいファイル名 (-n) で保存] 新しく保存するファイルに名前を付けます。テキストボックスに名前を入力します。

➡ 新しいファイルが指定した場所に保存されます。

複数ファイルの選択

キーボードの [Ctrl] キーを押しながらクリックすると、複数のファイルを同時に選択できます。

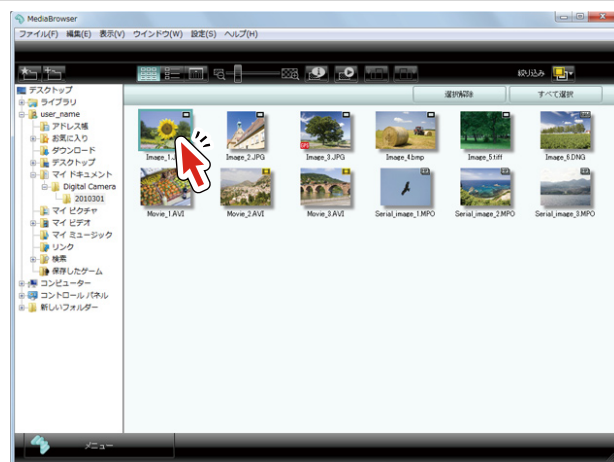
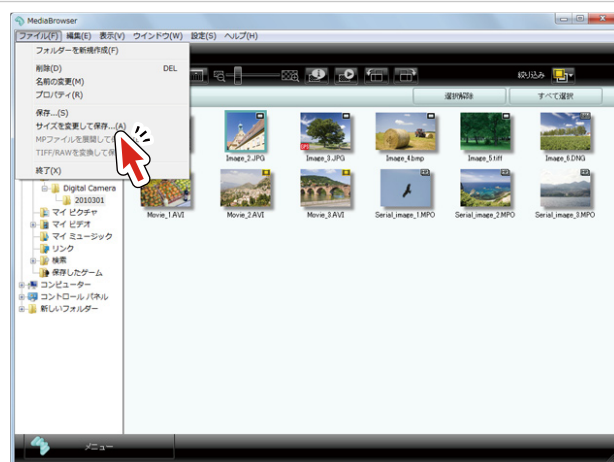
＊ 保存場所が異なるファイルを同時に選択することはできません。

複数のファイルを同時に保存するとき

新しいファイル名を付ける場合、2 つ目のファイル名が「(新しいファイル名) -1」となり、以降末尾の番号が繰り上がります。
また、既存のファイル名と重複する場合は、「(新しいファイル名) -1_1」から繰り上がります。

画像のサイズを変更して保存する

静止画ファイルの画像サイズを変えて、別のファイルとして保存することができます。

1 対象のファイルをクリックします。

2 [ファイル] メニューの [サイズを変更して保存 ...] をクリックします。

複数ファイルの選択

キーボードの [Ctrl] キーを押しながらクリックすると、複数のファイルを同時に選択できます。

＊ 保存場所が異なるファイルを同時に選択することはできません。

3　保存の方法を設定して、[保存] ボタンをクリックします。

項目	内容
保存先	保存先を変更するときは、[参照] ボタンをクリックします。
ファイル名	[元ファイル名で保存] 元のファイル名のままで、新しいファイルを保存します。
	[新しいファイル名 (-n) で保存] 新しく保存するファイルに名前を付けます。テキストボックスに名前を入力します。
サイズの指定	[幅を指定] サイズ変更後の画像の幅を指定します。
	[高さを指定] サイズ変更後の画像の高さを指定します。
	[元画像の長辺側を指定] 画像の長い方の辺を基準にして指定します。縦向きと横向きの画像を同時に処理するときに選択します。
	[指定するサイズ] 上記で指定した変更方法の数値（ピクセル数）を入力します。

➡ 新しいファイルが指定した場所に保存されます。

複数のファイルを同時に保存するとき

新しいファイル名を付ける場合、2 つ目のファイル名が「(新しいファイル名）-1」となり、以降末尾の番号が繰り上がります。
また、既存のファイル名と重複する場合は、「(新しいファイル名）-1_1」から繰り上がります。

画質の設定

保存するファイルの画質を設定できます。保存する前に、[設定] をクリックして画質を設定してください。

スライドショーを動画ファイルとして保存する

静止画ファイルのスライドショーを動画ファイルとして保存することができます。

1 メニューの [動画作成] をクリックします。

2 スライドショーにするファイルを画面下半分の領域にドラッグ＆ドロップします。

ソースパネル（画面左の欄）で選択した場所にあるファイルが画面上半分に表示されます。保存場所が異なるファイルを使う場合は、それぞれの保存場所を開いてドラッグ＆ドロップしてください。

＊最大 200 ファイルまで追加できます。

操作の前に ...

[設定] メニューの [動画作成の設定 ...] で 1 ファイルあたりの表示時間や切り換わるときの効果を変更することができます。(P.28)

スライドショーの表示順

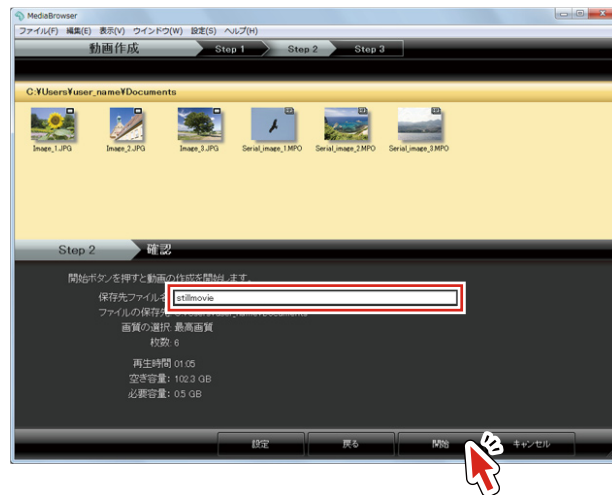
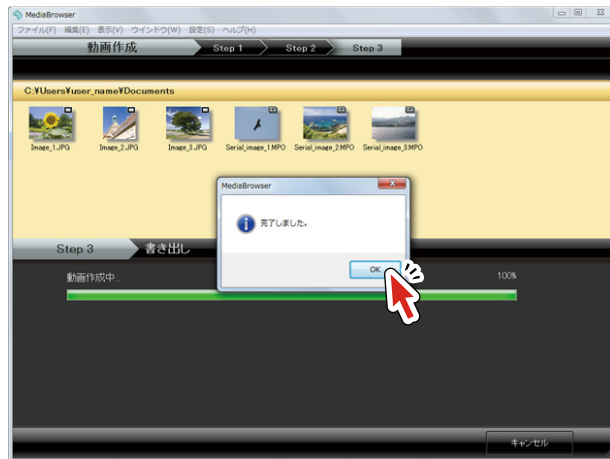
スライドショーで表示する順番は、ドラッグ＆ドロップで変更することができます。また、MP ファイル（連写撮影ファイル）は、1 コマずつ再生されます。

3 [次へ] ボタンをクリックします。

4 ファイル名を入力して、[開始] ボタンをクリックします。

➡ 動画ファイルの作成が開始されます。

保存場所と画質の変更

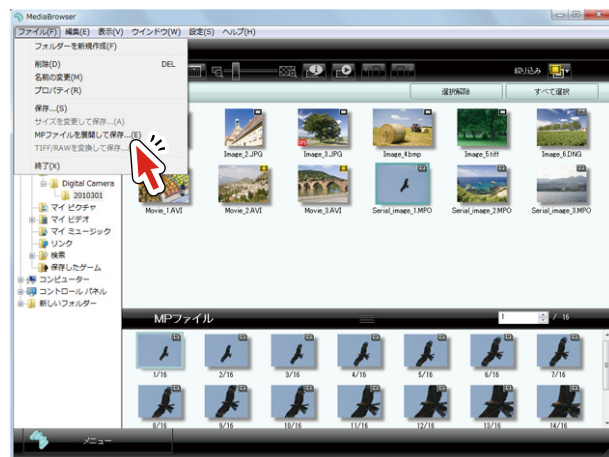
[設定] ボタンをクリックすると、動画ファイルの保存場所と画質を変更することができます。

5 完了メッセージで [OK] ボタンをクリックします。

➡ 動画ファイルが以下の場所に保存されます。

【Windows XP】　C:¥Documents and Settings¥（ユーザーアカウント名）¥ マイ ドキュメント ¥ マイピクチャ
【Windows Vista】C:¥Users¥（ユーザーアカウント名）¥ ピクチャ
【Windows 7】　C:¥Users¥（ユーザーアカウント名）¥ マイピクチャ

＊ カッコ内の名称は環境によって異なります。
＊「（マイ）ピクチャ」がないときは「（マイ）ドキュメント」に保存されます。

MP ファイルを 1 コマずつ保存する

連写した画像は 1 つのファイル（MP ファイル）として保存されています。このファイルの中の 1 コマずつを 1 ファイルとして保存しなおすことができます。

1 ファイルを選んで、[ファイル] メニューの [MP ファイルを展開して保存 ...] をクリックします。

MP アイコンの付いているファイルが MP ファイルです。

2 保存先とファイル名を設定して、[保存] ボタンをクリックします。

項目	内容
保存先	保存先を変更するときは、[参照] ボタンをクリックします。
ファイル名	[元ファイル名で保存] 元のファイル名のままで、新しいファイルを保存します。
	[新しいファイル名 (-n) で保存] 新しく保存するファイルに名前を付けます。テキストボックスに名前を入力します。

➡ 新しいファイルが指定した場所に保存されます。

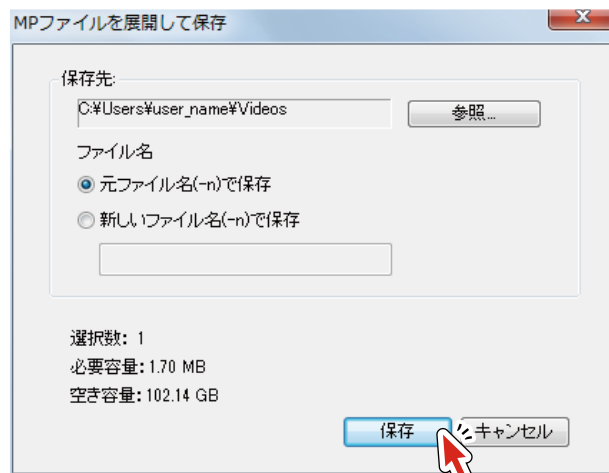
複数ファイルの選択

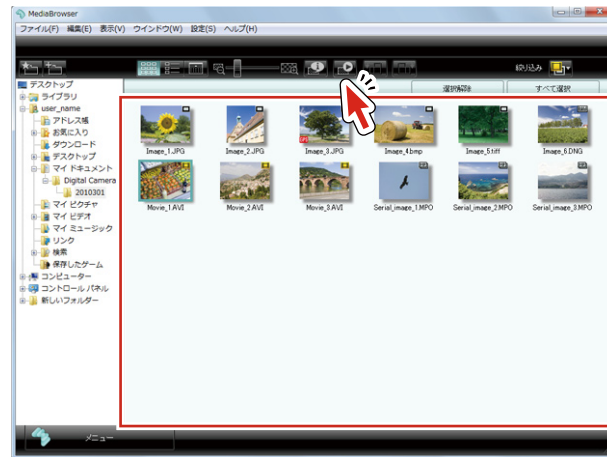
キーボードの [Ctrl] キーを押しながらクリックすると、複数のファイルを同時に選択できます。

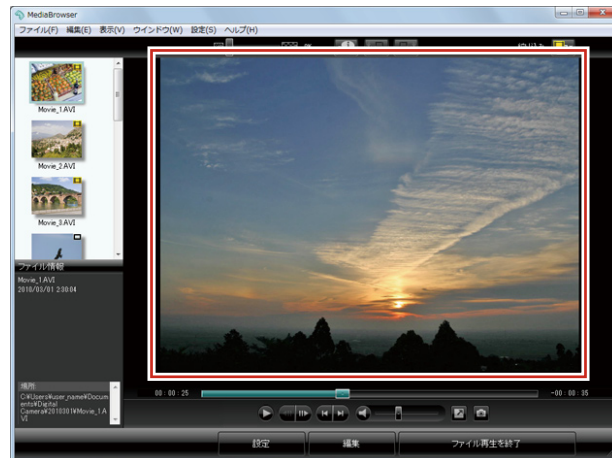
＊ 保存場所が異なるファイルを同時に選択することはできません。

複数のファイルを同時に保存するとき

新しいファイル名を付ける場合、2 つ目のファイル名が「(新しいファイル名) -1」となり、以降末尾の番号が繰り上がります。
また、既存のファイル名と重複する場合は、「(新しいファイル名) -1_1」から繰り上がります。

動画ファイル／ MP ファイルの一場面を静止画として保存する

動画ファイルまたは MP ファイルの場面を指定して、静止画ファイルにすることができます。

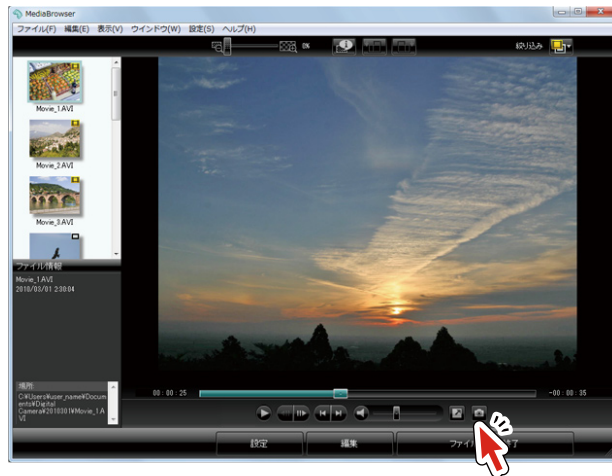
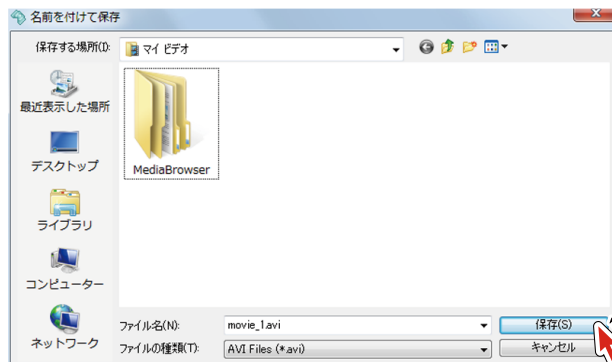
1 動画ファイルを選んで をクリックします。

アイコンの付いているファイルが動画ファイルです。

2 静止画として保存したい場面を表示します。

操作の前に ...

動画ファイルの場合は、[設定] メニューの [JPEG の設定 ...] で保存するファイルの画質を設定することができます。(P.27)

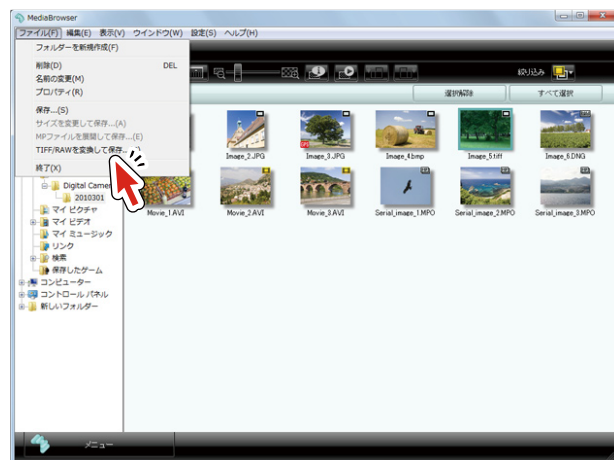
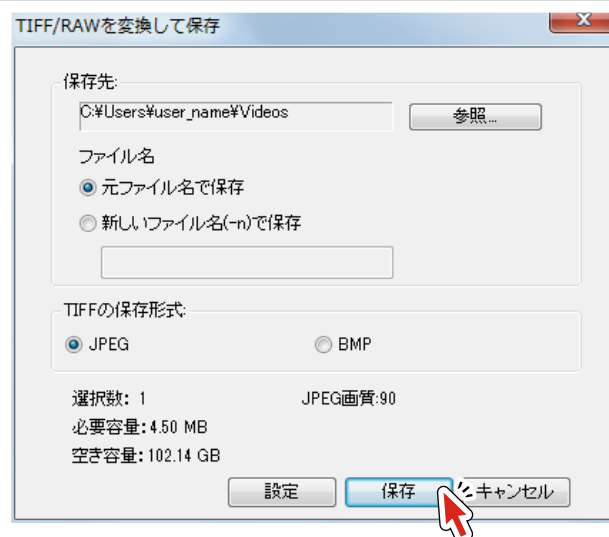
場面の表示について

/ ボタンや再生スライダーで表示する場面の微調整ができます。

3 ボタンをクリックします。

4 保存先を指定して、[保存] ボタンをクリックします。

➡ JPEG 形式の静止画ファイルとして保存されます。

TIFF 形式／ RAW 形式のファイルを変換する

TIFF 形式／ RAW 形式のファイルを、JPEG 形式または BMP 形式に変換して保存することができます。

1 変換するファイルを選んで、[ファイル] メニューの [TIFF/RAW ファイルを変換して保存 ...] をクリックします。

2 保存先とファイル名を設定して、[保存] ボタンをクリックします。

項目	内容
保存先	保存先を変更するときは、[参照] ボタンをクリックします。
ファイル名	[元ファイル名で保存] 元のファイル名のままで、新しいファイルを保存します。
	[新しいファイル名 (-n) で保存] 新しく保存するファイルに名前を付けます。テキストボックスに名前を入力します。
TIFF/RAW の保存形式	変換するファイル形式を選択します。

複数ファイルの選択

キーボードの [Ctrl] キーを押しながらクリックすると、複数のファイルを同時に選択できます。

＊ 保存場所が異なるファイルを同時に選択することはできません。

複数のファイルを同時に保存するとき

新しいファイル名を付ける場合、2 つ目のファイル名が「(新しいファイル名) -1」となり、以降末尾の番号が繰り上がります。

また、既存のファイル名と重複する場合は、「(新しいファイル名) -1_1」から繰り上がります。

他のソフトウェアや機器で使用する

YouTube にアップロードする

画像ファイルを YouTube のサイトにアップロードします。

1　メニューの [YouTube] ボタンをクリックします。

2　アップロードするファイルを画面下半分の領域にドラッグ＆ドロップします。

ソースパネル（画面左の欄）で選択した場所にあるファイルが画面上半分に表示されます。保存場所が異なるファイルを使う場合は、それぞれの保存場所を開いてドラッグ＆ドロップしてください。

＊一度に、最大 10 ファイルまでアップロードできます。

アップロードの前に

YouTube へのアップロードには、インターネットへの接続と YouTube アカウントの登録が必要です。

＊ お使いのパソコンが Windows XP の場合、Microsoft .NET Framework 2.0 または 3.5 をインストールしておく必要があります。Microsoft のホームページからダウンロードしてください。

選択を取り消すとき

画面下半分の領域に移動したファイルを除外するときは、ファイルを選択して、[選択項目を除く] ボタンをクリックします。

アップロードするファイルの制限

- 静止画ファイルは、動画ファイルの後にまとめてアップロードされます。
- 10 ファイルを超える静止画をアップロードする場合は、メニューの [動画作成] で動画ファイルに変換してください。
- 再生時間が１０分以上のファイルには、サムネイル上に ？（機能制限アイコン）が表示され、ファイルを正常にアップロードできない可能性があります。

3 [設定] ボタンをクリックして、画質を選択します。

＊ 画質を設定しなかった場合は、前回アップロード時の画質が適用されます。

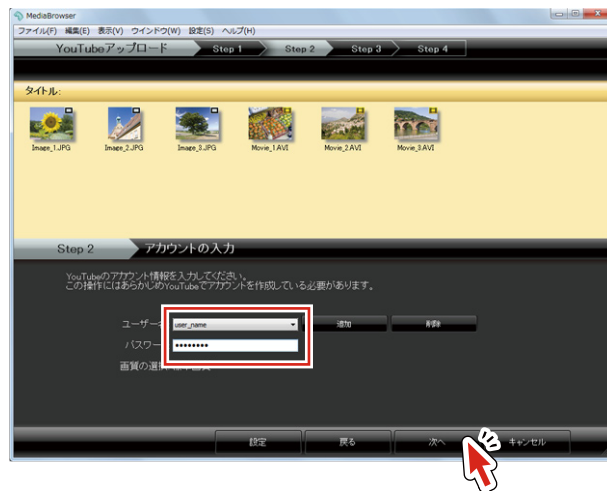
＊ YouTube の仕様変更などにより、YouTube 上で下記の設定通りに表示されない場合があります。

項目	内容
変換なし	元の画像のままアップロードします。
高画質	解像度を 1280 × 720 ピクセルに変換します。
標準画質	解像度を 320 × 180 ピクセルに変換します。

4 [次へ] ボタンをクリックします。

画質を [変換なし] にした場合

- デコモーションの設定 (P.66) はできません。
- 通信環境によってアップロードに時間がかかる場合があります。
- 使用するファイルの画質が低い場合を除いて、[高画質] や [標準画質] に比べてアップロードに時間がかかります。
- 再生画質は YouTube によって変換される形式の画質になります。
- YouTube 上で正しく再生されない場合は、[高画質] または [標準画質] でお試しください。

5 YouTube のアカウント情報を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

項目	内容
ユーザー名	[追加] ボタンをクリックして、YouTube ログイン用のユーザー名を入力します。
パスワード	YouTube ログイン用のパスワードを入力します。

6 ファイルの情報を設定します。

[説明]、[動画のカテゴリ]、[タグ]、[非公開] を入力します。同時にアップロードするすべてのファイルに、この情報が適用されます。

Google アカウントでログインする場合

Google アカウントと Youtube アカウントを事前にリンクさせておく必要があります。YouTube アカウント入力欄には、Google メールアドレスを入力します。

「(ユーザー名) @ gmail.com」と入力してください。

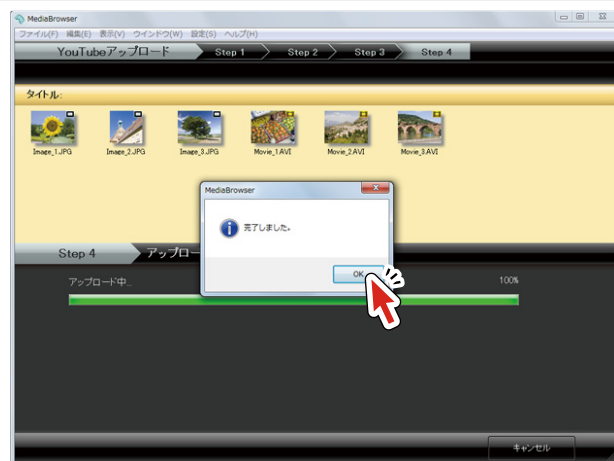
位置情報について

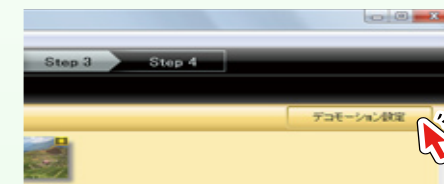
位置情報が記録されているファイル(アイコンのあるファイル) をアップロードした場合、撮影場所の位置情報も同時に登録されます。

＊ この機能は、対応カメラで位置情報を記録した場合のみ使用できます。

7 [アップロード] ボタンをクリックします。

➡ YouTube へのアップロードが開始されます。

8 完了メッセージで、[OK] ボタンをクリックします。

デコモーションの追加

手順 3 で、画質を [高画質] または [標準画質] にした場合は、アップロードする動画にフレーム(デコモーション)を加えることができます。

ファイルを選択して、[デコモーション設定] ボタンをクリックすると、設定画面に切り換わります。

＊ お使いのカメラの機種によっては、ご使用できません。

＊ 静止画には適用されません。

＊ デコモーションの設定は保存できません。MediaBrowser を終了すると消去されます。

YouTube にアップロードできない場合

ヘルプの［最新の製品情報はこちら］から、Q&A、最新情報、ダウンロード情報などを確認してください。

メディアプレーヤーなどで読み取れるファイル (WMV) を書き出す

画像ファイルを携帯メディアプレーヤーなどで再生したり、YouTube 以外の動画共有サイトにアップロードするために、ファイルの形式を WMV 形式に変換することができます。

1 メニューの [動画共有] ボタンをクリックします。

2 書き出すファイルを画面下半分の領域にドラッグ＆ドロップします。

ソースパネル（画面左の欄）で選択した場所にあるファイルが画面上半分に表示されます。保存場所が異なるファイルを使う場合は、それぞれの保存場所を開いてドラッグ＆ドロップしてください。

WMV 形式とは？

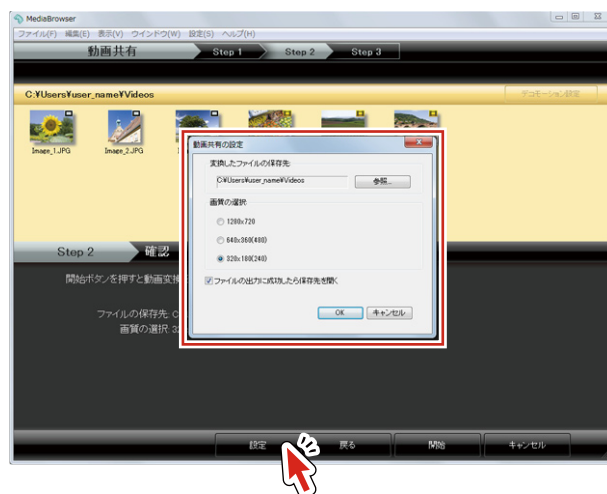
パソコン向けに広く普及している動画再生形式の 1 つです。動画共有サイトや多くの携帯メディアプレーヤーなどに対応しています。

＊ 操作の前に、使用する動画共有サイトやメディアプレーヤーが WMV 形式に対応しているかを確認してください。

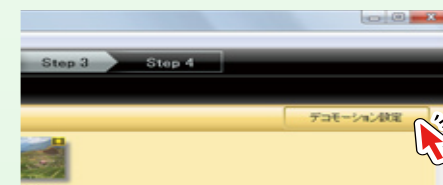
選択を取り消すとき

画面下半分の領域に移動したファイルを除外するときは、ファイルを選択して、[選択項目を除く] ボタンをクリックします。

3　[次へ] ボタンをクリックします。

4　[設定] ボタンをクリックして、保存先と画質を選択します。

項目	内容
変換したファイルの保存先	保存先を変更するときは、[参照] ボタンをクリックします。
画質の選択	書き出したファイルの解像度を選択します。
ファイルの出力に成功したら保存先を開く	チェックを入れると、書き出しが完了したときに保存先のフォルダを開きます

デコモーションの追加

動画ファイルにはフレーム（デコモーション）を加えることができます。

ファイルを選択して、[デコモーション設定] ボタンをクリックすると、設定画面に切り換わります。

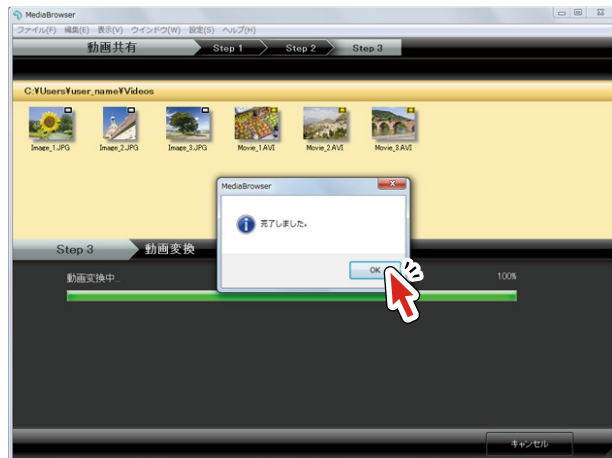
＊ お使いのカメラの機種によっては、ご使用できません。

＊ 静止画には適用されません。

＊ デコモーションの設定は保存できません。MediaBrowser を終了すると消去されます。

5　[開始] ボタンをクリックします。

➡ ファイルの書き出しが開始されます。

6　完了メッセージで、[OK] ボタンをクリックします。

➡ WMV 形式の動画ファイルが別ファイルとして保存されます。

他のデジタルカメラで読み取れるファイルを書き出す (DCF 作成)

撮影したカメラとは別のカメラや機器で画像ファイルを見ることができるように、DCF 規格に準拠したファイルを書き出します。

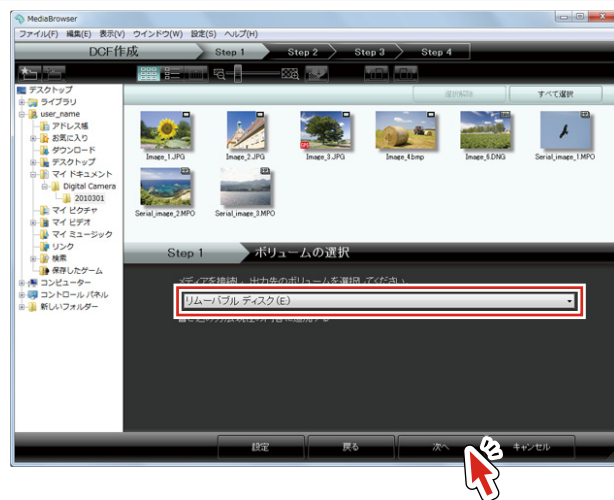
1　ファイルの書き出し先にする機器をパソコンに接続します。

2　メニューの [DCF 作成] ボタンをクリックします。

DCF 規格とは？

デジタルカメラのファイルシステム規格です。DCF 規格に準拠したファイルは、カメラに限らず、携帯電話やプリンターでも画像を表示することができます。

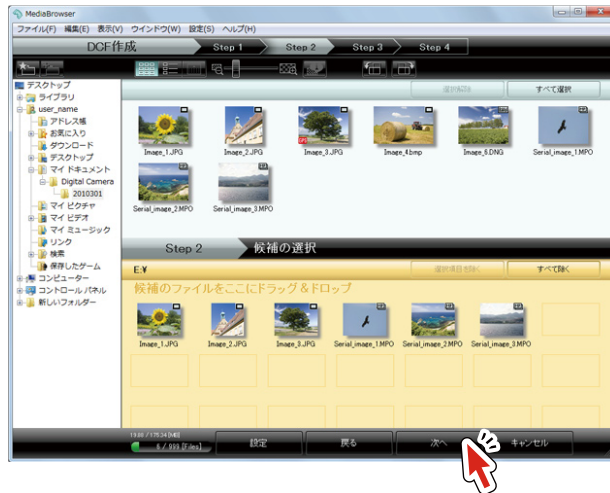
＊ 表示する機器が DCF 規格に対応している必要があります。

3 書き出し先の機器のボリュームを選んで、[次へ] をクリックします。

4 書き出したいファイルを画面下半分の領域にドラッグ＆ドロップします。

ソースパネル（画面左の欄）で選択した場所にあるファイルが画面上半分に表示されます。保存場所が異なるファイルを使う場合は、それぞれの保存場所を開いてドラッグ＆ドロップしてください。

選択を取り消すとき

画面下半分の領域に移動したファイルを除外するときは、ファイルを選択して、[選択項目を除く] ボタンをクリックします。

5 [次へ] をクリックします。

6 [設定] ボタンをクリックします。

7 書き込む方法を選択して、[OK] をクリックします。

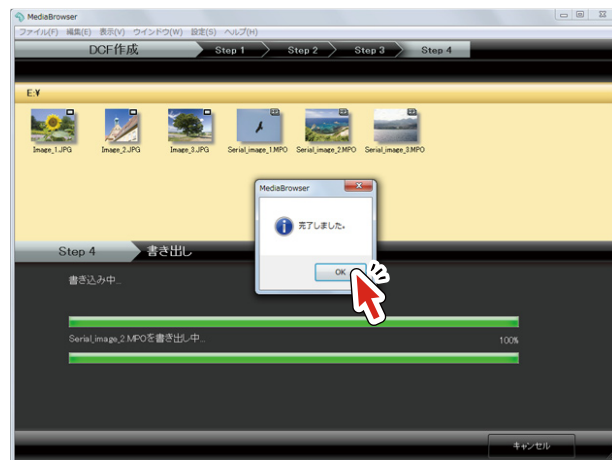
項目	内容
書き込み方法	[現在の内容に追加する] 書き出し先のボリュームにあるデータを残して書き込みます。
	[カメラ用のフォルダーを消去して書き込む] 書き出し先のボリュームにある画像データのフォルダを消去してから書き込みます。
	[指定されたボリュームをすべて消去してから書き込む] 書き出し先のボリュームを消去してから書き込みます。
書き込む情報	[サムネイルを作成する] にチェックを入れると、サムネイル用の画像情報が付加されます。書き出し先の機器が対応していないファイル形式でも、サムネイル画像を表示できる場合があります。
サイズの指定（MP ファイル以外）	書き出すファイルのサイズを指定します。
	[画像サイズを変更しない] 元画像のサイズで書き出します。
	[幅を指定] 画像の幅を指定して書き出します。[指定するサイズ] にピクセル数を入力します。
	[高さを指定] 画像の高さを指定して書き出します。[指定するサイズ] にピクセル数を入力します。
	[元画像の長辺側を指定] 画像の長い方の辺を基準にして書き出します。[指定するサイズ] にピクセル数を入力します。

DNG 形式のファイルを使う場合

- サイズを変更する場合は、JPEG 形式のファイルに変換されて書き出されます。
- [サムネイルを作成する] にチェックを入れていても、ファイルサイズが大きいときはサムネイルが表示されない場合があります。

8 [開始] ボタンをクリックします。

➡ ファイルの書き出しが開始されます。

9 完了メッセージで、[OK] ボタンをクリックします。

➡ 書き出し先の [DCIM] フォルダ内に書き出したファイルが保存されます。

＊ 書き出し先に [DCIM] フォルダがないときは、自動的にフォルダが作成されます。

Google Earth で位置情報を表示する

撮影時に位置情報を記録した画像ファイルは、MediaBrowser での再生に合わせて、Google Earth 上で位置情報を表示することができます。

＊ この機能は、対応カメラで位置情報を記録した場合のみ使用できます。

1 Google Earth をダウンロードします。

以下の URL から Google Earth をダウンロードします。

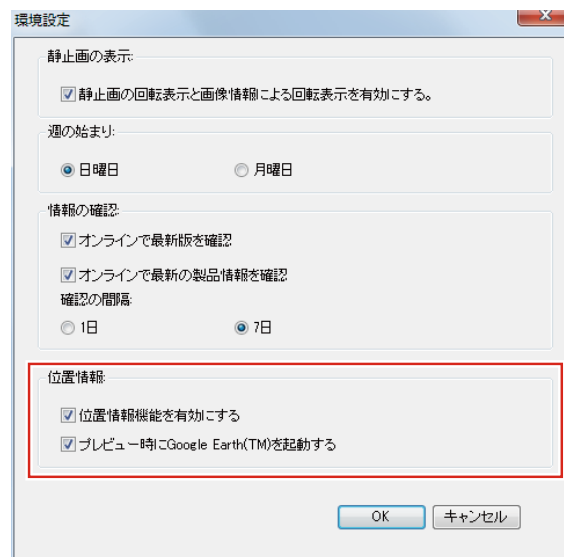
http://earth.google.com/

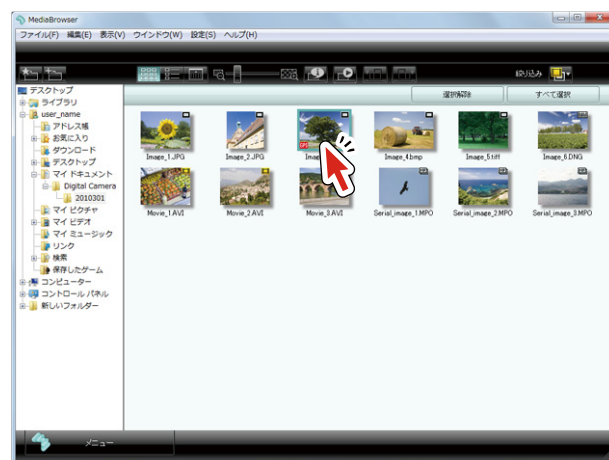
＊ Google Earth のホームページが見つからない場合は、「Google Earth」で検索してください。

2 Google Earth をインストールします。

ダウンロードされたファイルを実行すると、インストールが開始されます。画面の指示にしたがってインストールを行ってください。

3 [設定] メニューの [環境設定] を選択します。

4 [位置情報] の設定を有効にします。

「位置情報機能を有効にする」と「プレビュー時に Google Earth を起動する」の両方にチェックを入れて、[OK] をクリックします。

5 位置情報が記録されているファイルを再生します。

サムネイルに GPS アイコンが表示されているファイルが位置情報を含んでいます。

➡ Google Earth が自動的に起動して、再生中のファイルの位置情報が表示されます。

位置情報が表示されない場合

撮影時の環境によっては、位置情報が記録されていない場合があります。

Google Earth で読み取れるファイルを書き出す

撮影時に位置情報を記録した画像ファイルから、Google Earth 用の位置情報ファイルを書き出します。

＊ この機能は、対応カメラで位置情報を記録した場合のみ使用できます。

1 メニューの [Google Earth(TM) 出力] ボタンをクリックします。

2 位置情報を書き出すファイルを画面下半分の領域にドラッグ＆ドロップします。

ソースパネル（画面左の欄）で選択した場所にあるファイルが画面上半分に表示されます。保存場所が異なるファイルを使う場合は、それぞれの保存場所を開いてドラッグ＆ドロップしてください。

GPS アイコンが表示されているファイルを選んでください。

[Google Earth(TM) 出力] ボタン

[設定] メニューの [環境設定](P.26) で、「位置情報に関する機能を使用する」にチェックを入れると表示されます。

選択を取り消すとき

画面下半分の領域に移動したファイルを除外するときは、ファイルを選択して、[選択項目を除く] ボタンをクリックします。

3 [次へ] ボタンをクリックします。

4 表示される内容を確認します。

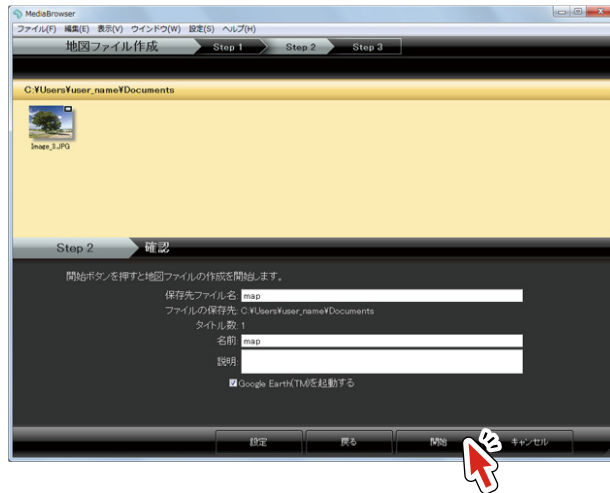
項目	内容
保存先ファイル名	書き出すファイルの名称を入力します。
ファイルの保存先	書き出されるファイルの保存先です。
タイトル数	1 ファイルが 1 タイトルとして書き出されます。
名前	Google Earth 上で表示される名前です。
説明	Google Earth 上で表示される説明です。
Google Earth(TM) を起動する	チェックを入れると、ファイルの書き出し後に Google Earth を起動します。

保存先の変更

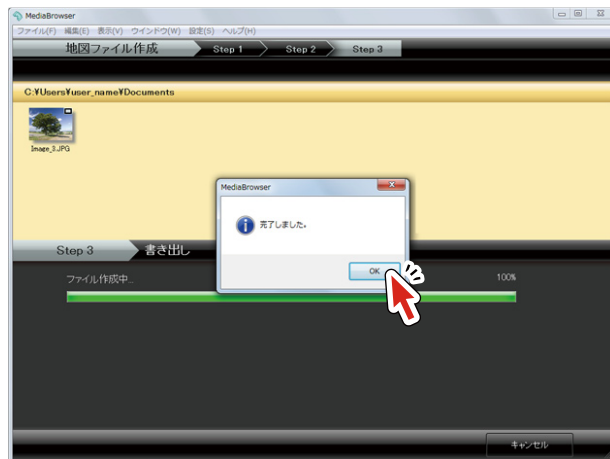
[設定] ボタンをクリックすると、保存先の設定画面が表示されます。

Google Earth の起動について

事前にソフトウェアをインストールしておく必要があります。以下の URL から Google Earth をダウンロードしてください。

http://earth.google.com/

5 [開始] ボタンをクリックします。

➡ ファイルの書き出しが開始されます。

6 完了メッセージで、[OK] ボタンをクリックします。

➡ KMZ 形式のファイルが以下の場所に保存されます。

【Windows XP】 C:¥Documents and Settings¥（ユーザーアカウント名）¥ マイ ドキュメント
【Windows Vista】C:¥Users¥（ユーザーアカウント名）¥ ドキュメント
【Windows 7】 C:¥Users¥（ユーザーアカウント名）¥ マイ ドキュメント

＊ カッコ内の名称は環境によって異なります。
＊ 複数のファイルがあるときは、1 つのファイルとして書き出されます。

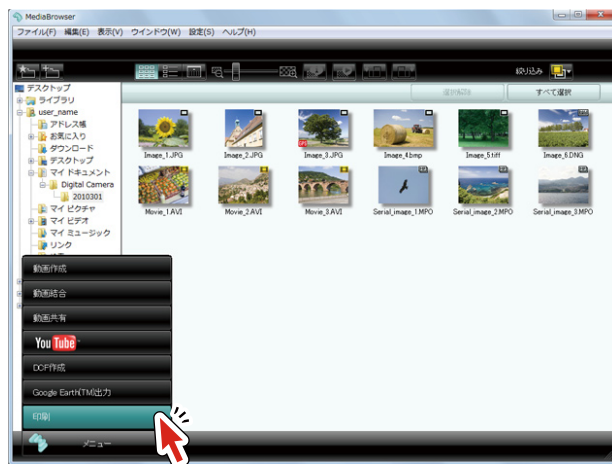
Google Earth 上での操作について

Google Earth を使用するには、インターネットへの接続が必要です。詳しい操作方法については、Google Earth のユーザーガイドを参照してください。

画像を印刷する

静止画を印刷する

静止画を印刷します。複数の静止画をまとめて印刷することもできます。

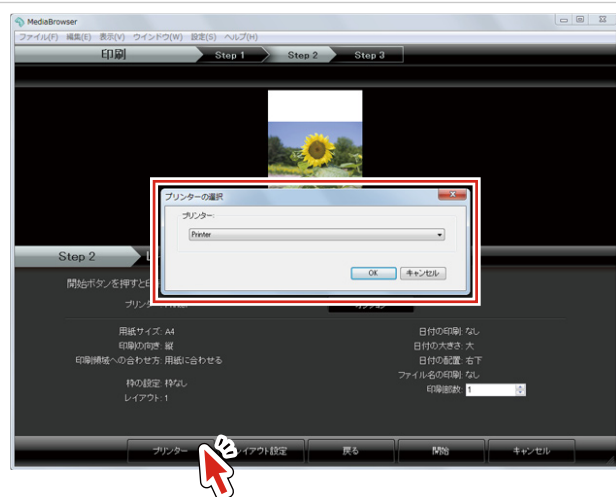
1　メニューの [印刷] ボタンをクリックします。

2　印刷するファイルを画面下半分の領域にドラッグ＆ドロップします。

ソースパネル（画面左の欄）で選択した場所にあるファイルが画面上半分に表示されます。保存場所が異なるファイルを使う場合は、それぞれの保存場所を開いてドラッグ＆ドロップしてください。

選択を取り消すとき

画面下半分の領域に移動したファイルを除外するときは、ファイルを選択して、[選択項目を除く] ボタンをクリックします。

3 [次へ] ボタンをクリックします。

4 [プリンター] ボタンをクリックして、印刷に使用するプリンターを選びます。

5 [オプション] ボタンをクリックして、用紙サイズと印刷の向きを設定します。

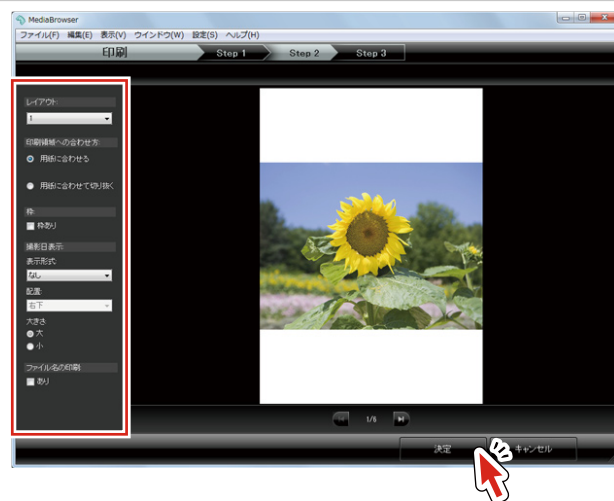
＊ 使用するプリンターによって、設定ウィンドウの表示内容が異なります。

6 [レイアウト設定] ボタンをクリックします。

印刷のプレビュー

現在の設定での印刷結果がプレビューに表示されます。

複数の画像を印刷するときは、 / をクリックすることで、各ページをプレビューできます。

7 レイアウトの設定をして、[決定] ボタンをクリックします。

項目	内容
レイアウト	1 枚あたりに印刷する画像の数と配置方法を設定します。
印刷領域への合わせ方	[用紙に合わせる] 画像が紙面よりも大きい場合、紙面に収まるように縮小して印刷します。
	[用紙に合わせて切り抜く] 画像の大きさが用紙よりも大きい場合、用紙のサイズで画像が切り抜かれます。用紙からはみ出た部分は印刷されません。
枠	チェックを入れると画像の周囲に枠が入ります。
撮影日表示	[表示形式] 撮影日や撮影時間を印刷するかどうかの設定をします。
	[配置] 撮影日を印刷する場合の表示箇所を選択します。
	[大きさ] 撮影日を印刷する場合の文字の大きさを選択します。
	[ファイル名の印刷] チェックを入れると画像のファイル名を印刷します。

8 印刷部数を入力します。

9 [開始] ボタンをクリックします。

➡ 印刷が開始されます。

10 完了メッセージで、[OK] ボタンをクリックします。